

竹々取る取る 首ッウケッ



★捉えた課題と着想 ～竹は本当に“厄介者”？ いや、違うんだ！～

1. 竹材需要の減少と放置された竹林の増加
インフラ整備に活用することで大量消費＆新たな価値
2. カーボンニュートラルな河川防災による環境保全
竹と河川は相性いいかも♥（グリーンインフラ）
3. 地域に親しまれる水辺環境づくり = まちづくり
竹インフラで遊ぼう！学ぼう！！



「竹インフラがある川の風景」～攻めと守りの竹タリティ※～

*竹タリティ・・・竹に対する心の在り方や向き合い方、バッサイジャーの力の根源

★攻めの竹タリティ ～創造～

1. 親水公園への竹製遊具の設置
竹の栈橋、竹筏、竹馬、竹太鼓など
2. 自然光&メンテフリーのイルミネーション
竹蛇籠に仕込んだ夜光石（蓄光石）
3. ミニ竹水車による風情の創出
攪拌効果＋微生物が付着して水質も改善！？



★期待される効果 ～自然と人がwin-win～

1. 竹害の低減
河川のコラボ → “資源”としての竹の価値向上
竹林の管理促進 → 5～10年で大量のCO₂を吸収
2. 河川環境の整備・保全
生態系と景観性に配慮した豊かな川づくりに貢献
カーボンニュートラルな防災インフラとしての価値
3. 新産業の創出
竹遊具の製造、竹蛇籠の大量生産による地域の収入源
4. 地域が参加する竹インフラ
竹グッズを用いた水辺の広場、親水公園
学校での竹蛇籠づくり体験・装飾石・タイムカプセル
河川を地域の老若男女にとって、楽しみの空間へ
自治体と地域住民をつなぐ竹インフラの存在
→ “いつの間にか”インフラマネジメントの世界によろこそ

★守りの竹タリティ ～保全～

1. 竹蛇籠による河川防災と環境保全
2,000年の歴史をもつ竹蛇籠（様々な形：円筒、角形、マット形）
→ 護岸/河床洗掘の防止、水制、生物の住处、流速低減、根固め
※ コンクリートブロックは製造時に270kg/m³のCO₂を排出（諸説あり）
2. 竹蛇籠のアレンジレシビ（中身：自然石＋？？？）
 - ① ＋夜光石：水中イルミネーション＝景観美・楽しみ
 - ② ＋炭：水質浄化・汚れ吸着＝新しい性能
 - ③ ＋タイムカプセル：流されることも＝災害ゼロへの願い
 - ④ ＋装飾石：隠れミ○キー的な・人面石探し＝遊びの場



★実現に向けて・・・

1. 竹蛇籠の工業製品化・コスト
編み方が単純作業の繰り返し（意外とできた！）
抱えたらバラバラになることも（強度の問題）
2. 鋼・コンクリートとの使い分け
川幅5.4m程度の自然豊かな小規模河川向きかも？
3. 地域や自治体へのアプローチのしかた
地域のシニアや子どもたちに参加して欲しい！

竹タリティを手にしたバッサイジャーがたどり着いた境地は

竹と人間の共存・共栄

であったのだった。。。

徳山工業高等専門学校 土木建築工学科

く芯の通ったキラメク芸術家	バッサイイエロー	>	4年	○齊藤 遥奈
くリングと赤点の化身	バッサイレッド	>	4年	山根 秀太
く優しさと笑顔の権化	バッサイピンク	>	4年	井上 咲弥
く信号をしっかりと守る	バッサイグリーン	>	1年	長尾 颯希
くお家ではジャイアニズム	バッサイバイオレット	>	1年	中川 唯花

